

別記様式（第3条関係）

事務事業評価調査書（26年度）

No.	30		作成日	平成26年10月1日	
総合計画	章	3	美しいまちづくり	年度	平成25年度事業
	項	1	新たな観光・交流空間の形成	課等名及び係名	観光商工課 観光係
	節	1	地域資源を活かした観光の振興	記入者職氏名	主任 鴨志田 琢磨

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
事務事業名	観光ボランティアガイド補助事業			
事業概要	対象	観光ボランティア大子		
	目的	観光ボランティアの育成を図り、おもてなしの心で観光客を迎え入れる体制づくり。		
	実施内容	観光ボランティア大子に補助し実施する。		

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	
	款	6	商工費		事業名 (施策名)	
	項	1	商工費			
	目	3	観光費			
	事業名			根拠法令		

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

事業期間	開始	終了				
	平成22年度	年度				
年度	事業費（決算・予算）	財源内訳（単位：千円）				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22年度実績	1,000				1,000	
23年度実績	1,000				1,000	
24年度実績	1,000				1,000	
25年度実績	1,000					1,000
26年度当初	1,000				1,000	

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
25年度分						

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	平成22年度に設立、補助開始。 平成25年度の案内活動日数は42日間で、観光地でのボランティアガイドに取り組んでいる。また、大子町の行事にも協力していただいている。その他、研修会などを実施し会員相互のスキルアップに努めている。
------	--

V 問題点の概要

問題点	歴史・文化など地域資源を生かした案内コースの拡大及び会員数の増加を含めた組織の充実。
-----	--

VI 成果指標

成果指標名	単位	25年度		26年度		27年度		28年度		対28年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
会員数	人	24	35		40		45		50	48.0%
指標に表われない効果	観光ボランティア大子は、観光客への案内を通し、直に大子町の観光他に関する印象、意見を把握できる活動であり、町へ観光行政に対する提言をしている。									

【事務事業の評価】

◎一次評価（担当課においての評価）

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか。 ○対象・意図を見直す余地はあるか。 ○町が実施又は関与すべき目的であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	観光客の受入体制の充実に貢献していると思われる。
有効性	○成果向上の余地があるか。 ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか。 ○目的が達成されたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	新たな魅力向上や更なるおもてなしの心の醸成など、接客サービスの向上には有効と思われる。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か。 ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか。 ○他の事務事業との統合は可能か。	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	活動実績・活動内容を検討し補助金に反映させて行く必要がある。なお、他の事務事業との統合は不可能である。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか。 ○負担者（納税者）の理解は得られているか。	<input type="checkbox"/> 公平である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	主は観光客向けだが、町内の団体等であっても町内観光する場合などには利用することができる。

II 総合評価

今後の方向性	2								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
<p>【総合評価】※理由、具体策及び今後の課題等を記入してください。</p> <p>「おもてなしの心」で観光客を受け入れる体制が求められており、現行どおり継続することが必要である。ただし、会員数の増加を含めた組織の充実、更なる資質の向上が必要と思われる。</p>									
<p>【所属長意見】</p> <p>観光客等への案内紹介を通して、大子町の観光行政に協力をいただいています。今後とも、町全体が「おもてなしの心」で観光客を受け入れる体制が求められており、現行どおり継続が適当と考えます。</p>									

